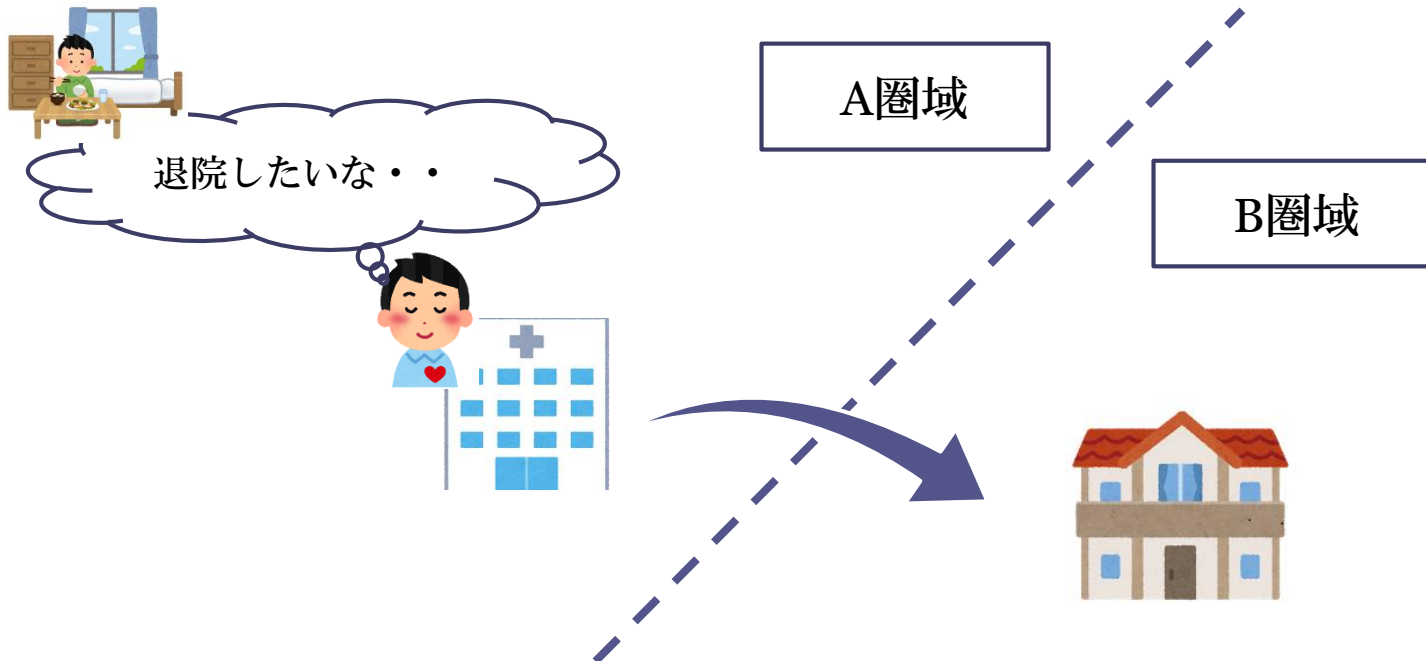


(案)

# 遠隔地退院支援事業とは？

精神障害者の地域移行を進めるため、生活していた場所から遠く離れた場所に入院を余儀なくされ、以前住んでいた地域に退院を希望する方に対する支援について、利用することができる事業です。



# 事業の概要

- 事業目的

精神障害のある者で、様々な事情により、生活していた場所から遠く離れた場所（遠隔地）で入院を余儀なくされた者のうち、以前生活していた地域へ退院を希望する者に対し、退院後の生活を想定した「退院支援」を行う。

- 事業の対象者

①原則1年以上入院している。

②入院先の病院と本人が退院を希望する地域が圏域をまたがる。

③本人が退院を希望する地域が、入院する前に住んでいた地域や、本人の地元と言える地域である。

※圏域とは、障害保健福祉圏域（保健所圏域）をいう。

# 関係者が行う支援に使えます！

帰住先で本人とともに退院の準備をしたいけど、遠方であるため、支援に行くのも中々大変・・・

退院に向けた準備に時間がかかりそう。

本人がサービスの利用に前向きになれない。すぐに申請が難しい。



支援が途切れないようにするため、帰住先の関係者に引継をしたい。

※医療保険や介護保険、自立支援給付等の既存制度との併用は可能ですが、それらの制度で請求可能な支援と重複する支援内容については、本事業の補助対象となりません。

# 事業について Q&A



1年以上入院していないと利用できないの？

- ・入院期間が1年未満でも利用できます。

本人が退院を希望する地域（地元）が、千葉県外にある場合は？

- ・退院先が千葉県外でも利用できます。

千葉県外にある病院から、地元である千葉県内への退院支援を依頼された。

- ・千葉県外の病院から退院する場合も利用できます。

帰住先の地域の病院に転院が必要なの？

- ・転院する場合も、転院しない場合も利用できます。

どんな補助があるの？

- ・会議や支援に必要な旅費等の補助があります。

報告等は必要？

- ・圏域連携コーディネーターへ適宜報告を。また、地域移行支援協議会で報告していただく場合もあります。

隣の圏域に退院する場合は？

- ・隣の圏域に退院を希望する場合でも利用できます。

本人は地元への退院を希望しているが、後に別の場所への退院を希望するかも・・・

- ・支援の途中で帰住先が変わった場合も利用できます。

まずは圏域連携  
コーディネーターへ  
ご相談ください。

